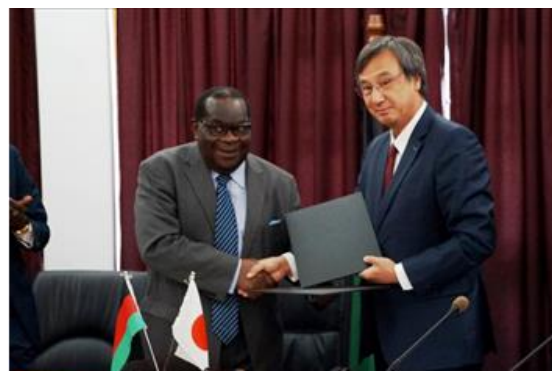


平成 27 年度無償資金協力

カムズ国際空港ターミナル拡張計画

E/N署名式

2015 年 11 月 4 日



左:ゴンドウェ財務・経済計画・開発大臣及び西岡駐マラウイ日本国大使がE/Nに署名する様子

右:署名後、ゴンドウェ財務・経済計画・開発大臣及び西岡駐マラウイ日本国大使が握手を交わす様子

2015 年 11 月 4 日、西岡駐マラウイ日本国大使とゴンドウェ財務・経済計画・開発大臣との間で、無償資金協力「カムズ国際空港ターミナルビル拡張計画」に関する書簡の交換(E/N)が行われました。

日本政府は、1980 年代にカムズ国際空港のターミナルビル及び航空保安施設の建設、2010 年には、クリーンで持続可能なエネルギーを供給する太陽光発電パネルの設置、2011 年には、航空管制システムの機材導入の支援を実施しました。

現在、同空港施設及び機材の老朽化やターミナルの混雑という課題を抱えており、大規模な修繕及び拡張が求められています。こうした課題を受けて、本計画では、36 億 7,500 万円の無償資金を供与することで、ターミナルビルの拡張及びX線検査装置、金属探知機、航空機監視レーダーを含む航空保安機材の整備を行い、同空港の旅客取扱量の拡大、利用者の便利性の向上及び航空機運行の安全性の確保に貢献することを期待しています。

今年 3 月、日本政府は 58 億円の大規模な無償資金協力案件である「テザニ水力発電増設計画」の E/N に署名しました。同空港案件を併せると 96 億円の無償資金協力でコミットしたことになります。